

(第1面)

### 特別管理産業廃棄物処理計画書

令和5年5月25日

札幌市長 様

提出者

住 所 札幌市中央区北1条西13丁目1-1

市立札幌病院

氏 名 札幌市病院事業管理者

(代表者の氏名) 病院局長 西川 秀司

電話番号 011-726-2211

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条の2第10項の規定に基づき、特別管理産業廃棄物の減量その他の処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	市立札幌病院
事業場の所在地	札幌市中央区北11条西13丁目1-1
計画期間	令和5年4月1日 ~ 令和6年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
① 事業の種類	医療業 一般病院 [8311]
② 事業の規模	病床数 672
③ 従業員数	1,163人 (令和5年4月1日時点)
④ 特別管理産業廃棄物の一連の処理の工程	<ul style="list-style-type: none"><li>・感染性廃棄物→収集運搬業者に委託→中間処理業者に委託し焼却→焼却残渣を埋立処分</li><li>・廃油→収集運搬業者に委託→中間処理業者に委託し焼却→セメント材として再資源化</li><li>・廃アルカリ→収集運搬業者に委託→中間処理業者に委託し焼却→セメント材として再資源化</li><li>・汚泥(特)→収集運搬業者に委託→中間処理業者に委託し焼却→焼却残渣を埋立処分</li></ul>

(日本工業規格 A列4番)



特別管理産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項					
(管理体制図)					
別紙1のとおり					
特別管理産業廃棄物の排出の抑制に関する事項					
① 現状	【前年度（令和4年度）実績】				
	特別管理産業廃棄物の種類	感染性産業廃棄物	廃油-特	廃アルカリ-特	汚泥-特
	排出量	332.99t	0.8t	0.01t	0.01t
(これまでに実施した取組)					
<ul style="list-style-type: none"> <li>医療廃棄物を感染性廃棄物と非感染性廃棄物（5分別）に細かく分別することで特別管理産業廃棄物としての処理量を抑制した。</li> </ul>					
② 計画	【目標】				
	特別管理産業廃棄物の種類	感染性産業廃棄物	廃油-特	廃アルカリ-特	汚泥-特
	排出量	340t	1.0t	0.1t	0.1t
(今後実施する予定の取組)					
<ul style="list-style-type: none"> <li>感染性廃棄物については、引き続き「廃棄物処理法に基づく感染性廃棄物処理マニュアル」に従い、その適正な管理を行う。</li> <li>その他の特別産業廃棄物については減量化を推進する。</li> </ul>					
特別管理産業廃棄物の分別に関する事項					
① 現状	(分別している特別管理産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)				
<ul style="list-style-type: none"> <li>引き続き医療廃棄物を感染性廃棄物と非感染性廃棄物（5分別）に細かく分別することで特別管理産業廃棄物としての処理量を抑制することに努める。</li> </ul>					
② 計画	(今後分別する予定の特別管理産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)				
<ul style="list-style-type: none"> <li>引き続き「廃棄物処理法に基づく感染性廃棄物処理マニュアル」に従い、廃棄物の分別管理に努める。</li> </ul>					

## 自ら行う特別管理産業廃棄物の再生利用に関する事項

	【前年度（令和4年度）実績】				
	特別管理産業廃棄物の種類	感染性産業廃棄物	廃油-特	廃アルカリ-特	汚泥-特
① 現状	自ら再生利用を行った特別管理産業廃棄物の量	—	—	—	—
	(これまでに実施した取組)				
② 計画	【目標】				
	特別管理産業廃棄物の種類	感染性産業廃棄物	廃油-特	廃アルカリ-特	汚泥-特
	自ら再生利用を行った特別管理産業廃棄物の量	—	—	—	—
	(今後実施する予定の取組)				

## 自ら行う特別管理産業廃棄物の中間処理に関する事項

	【前年度（令和4年度）実績】				
	特別管理産業廃棄物の種類	感染性産業廃棄物	廃油-特	廃アルカリ-特	汚泥-特
① 現状	自ら熱回収を行った特別管理産業廃棄物の量	—	—	—	—
	自ら中間処理により減量した特別管理産業廃棄物の量	—	—	—	—
	(これまでに実施した取組)				
② 計画	【目標】				
	特別管理産業廃棄物の種類	感染性産業廃棄物	廃油-特	廃アルカリ-特	汚泥-特
	自ら熱回収を行った特別管理産業廃棄物の量	—	—	—	—
	自ら中間処理により減量した特別管理産業廃棄物の量	—	—	—	—
	(今後実施する予定の取組)				

## (第4面)

自ら行う特別管理産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項					
① 現状	【前年度（令和4年度）実績】				
	特別管理産業廃棄物の種類	感染性産業廃棄物	廃油-特	廃アルカリ-特	汚泥-特
	自ら埋立処分を行った特別管理産業廃棄物の量	—	—	—	—
	(これまでに実施した取組)				
② 計画	【目標】				
	特別管理産業廃棄物の種類	感染性産業廃棄物	廃油-特	廃アルカリ-特	汚泥-特
	自ら埋立処分を行った特別管理産業廃棄物の量	—	—	—	—
	(今後実施する予定の取組)				
特別管理産業廃棄物の処理の委託に関する事項					
① 現状	【前年度（令和4年度）実績】				
	特別管理産業廃棄物の種類	感染性産業廃棄物	廃油-特	廃アルカリ-特	汚泥-特
	全処理委託量	332.99 t	0.8 t	0.01 t	0.01 t
	優良認定処理業者への処理委託量	—	—	—	—
	再生利用業者への処理委託量	—	0.8 t	0.01 t	—
	認定熱回収業者への処理委託量	—	—	—	—
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	—	—	—	—
(これまでに実施した取組)					
・委託基準に従って、必要な許可を持った特別管理産業廃棄物処理業者に委託している。					

		【目標】				
		特別管理産業廃棄物の種類	感染性産業廃棄物	廃油-特	廃カカリ-特	汚泥-特
② 計画	全処理委託量	330 t	1.0 t	0.1 t	0.1 t	
	優良認定処理業者への処理委託量	—	—	—	—	
	再生利用業者への処理委託量	—	1.0 t	0.1 t	—	
	認定熱回収業者への処理委託量	—	—	—	—	
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	—	—	—	—	
	(今後実施する予定の取組) ・引き続き委託基準に従って、必要な許可を持った特別管理産業廃棄物処理業者に委託する。					
電子情報処理組織の使用に関する事項	【前年度(令和4年度)実績】					
	特別管理産業廃棄物排出量 (ポリ塩化ビフェニル廃棄物を除く。)	333.81 t				
		(今後実施する予定の取組等) ・電子マニフェスト(JWNET)の加入継続及び電子マニフェスト対応処理業者と契約。				
※事務処理欄						

備考

- 1 前年度の特別管理産業廃棄物の発生量が50トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
  - (1) ①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
  - (2) ②欄には、製造業の場合における製造品出荷額(前年度実績)、建設業の場合における元請完成工事高(前年度実績)、医療機関の場合における病床数(前年度末時点)等の業種に応じ事業規模がわかるような前年度の実績を記入すること。
  - (3) ④欄には、当該事業場において生ずる特別管理産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程(当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。)を記入すること。
- 4 「自ら行う特別管理産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った特別管理産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「自ら行う特別管理産業廃棄物の埋立処分処理に関する事項」の欄には、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、埋立処分した量を記入すること。なお、中間処理を行うことにより特別管理産業廃棄物に該当しなくなった産業廃棄物を海洋投入処分するときは、その量も含めて記入すること。
- 6 「特別管理産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者(産業廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令(以下「令」という。)第6条の14第2号に該当する者)への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者(産業廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者)である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 7 「電子情報処理組織の使用に関する事項」の欄には、前年度の特別管理産業廃棄物の全発生量(ポリ塩化ビフェニル廃棄物(令第2条の4第5号イからハまでに掲げるものをいう。)を除く。)を記入すること。その量が50トン以上の者にあつては、今後の電子情報処理組織の使用に関する取組等(情報処理センターへの登録が困難な場合として産業廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行規則第8条の31の4に該当するときは、その旨及び理由を含む。)について記入すること。
- 8 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、特別管理産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 9 ※欄は記入しないこと。

### 廃棄物の処理に関する管理体制

特別管理産業廃棄物管理責任者	市立札幌病院 病院長	
廃棄物処理管理	経営管理部 総務課 施設管理担当	<ul style="list-style-type: none"> <li>・廃棄物処理方針の策定</li> <li>・廃棄物処理に関する管理規定の策定</li> <li>・廃棄物処理に関する事項の決定・承認</li> <li>・廃棄物処理に関する検討：廃棄物の発生抑制、再生利用、中間処理、適正処理の推進、廃棄物処理の管理・計画の検討</li> <li>・廃棄物処理計画の作成</li> <li>・廃棄物管理状況の把握と改善策の検討</li> <li>・委託契約の締結</li> <li>・マニフェストの交付・管理</li> <li>・産業廃棄物処理施設の運転・維持管理状況の把握</li> <li>・処理業者、再生利用業者の調査・選定</li> <li>・特別管理産業廃棄物管理責任者等の設置（感染性以外）</li> <li>・監督官庁への各種報告等</li> <li>・従業員、関連会社に対する教育・啓発</li> <li>・その他産業廃棄物処理に関連する事項全般</li> </ul>

### 管理体制図

